

高温に耐えられる後期栄養増強と土づくり等の実践で品質V字回復!!

～ 最重点5項目の確実な実践で1等米90%! ～

1. 令和6年度エコ・5-5 運動の重点技術対策 太字の5項目は最重点 ___:新規・強化取組

重点技術対策	具体的な取り組み
高温に耐えられる「土づくり・元気な根づくり」	①作土深は15cmを確保しましょう(スタブルカルチ・“回り耕ち”等) ②堆肥・完熟発酵ケイフン(イセ有機)・ケイ酸質資材による土づくりを推進 ③稲わら秋すき込みと、もみ殻をほ場に還元しましょう
健苗育成と「良質茎の早期確保で安定収量を確保」!	①健苗育成と移植前追肥および深植えを是正し、活着・初期生育を促進しましょう ②完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填(砂質土壌等低地力ほ場)と基肥量の再点検(粘土質土壌等の高地力ほ場)を行いましょ ③5月10日以降で5月20日を中心とした田植えの推進によりリスク分散と、8月5日以降の出穂を目指しましょう(4月20日～5月上旬播種の推進) ④水の更新や夜間落水により、ワキ防止と根の健全化を図りましょう
適期中干しによる生育調節で「倒伏させない稲づくり」	①田植え後1か月を目途に中干し・溝切りを実施しましょう ②本格的な梅雨入り前に地耐力を確保、過剰籾数を抑制しましょう ③“小ヒビ”中干しを基本とし、軟弱圃場では強め中干しでコンバイン収穫の地固めをしましょう
的確な生育診断と倒伏させない穂肥で「高温に強い稲づくり」	①葉色による穂肥診断とスマート技術の活用で、ほ場生育の均一化を目指しましょう ②高温に耐えられる後期栄養の増強で背白粒等の白未熟粒の発生を防ぎましょ ③8月の高温常態化に対応した慣行栽培の化学合成窒素使用量の見直しに伴いエコ栽培における穂肥化学合成窒素使用量が0.5kg/10a増施可となります ④品質と良食味を兼ね備えた適正玄米タンパク質含量(コシヒカリ:5.5～6.0%)
高温気象下における「こしいぶきの高品質安定生産」	①完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填と生育の大型化 ②健苗育成と適正栽植株数(60株以上/坪)、深植えを是正し良質茎・穂数を確保ましょ ③生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始ましょ ④積極的穂肥による後期栄養確保上限補給で品質・収量を両立ましょ
こまめな水管理で「粒張りのよいおいしい米づくり」	①飽水管理又は間断かん水を徹底し、根の活力、葉色及び地耐力を確保ましょ ②台風・フェーン時は事前湛水し、水温上昇を抑えるこまめな水管理を行いましょ ③最終かん水日は出穂後25日以降とし早期落水をしないようにましょ
少ない農薬使用で効果的な雑草・病虫害防除	①初中期一発剤・中後期剤により水田内雑草を効果的に防除ましょ ②いもち病及び紋枯病は予防防除が基本です(フジワンモンカット粒剤、フジワン剤)
適期収穫と丁寧な選別で「全量“1等米”へ」	①収穫適期情報+②ほ場の籾黄化程度85～90%で収穫適期判断+③高温・フェーン時の過乾燥防止により、胴割粒の発生を防止ましょ(適期収穫・適正乾燥) ④選別網目1.9mmを使用し、整粒を確保して1等米に仕上げましょ ⑤収穫適期期間内に刈取りを行うために、ントリーエレベーター等の共同乾燥施設を活用ましょ

※令和6年度第1回エコ・5-5運動代表者会議が2月22日に開催され、承認されました。

2. 育苗作業手順

(1) コシヒカリの作業計画

高温気象に対するリスク分散を図るため、5月10日田植えのほか5月20日中心の田植えも行いましょう。

作業内容	5月10日田植えの場合	5月20日田植えの場合
浸種	4月8日開始～4月17日終了	4月21日～4月29日
催芽	4月18日開始～4月19日終了	4月30日～5月1日
播種	4月20日	5月2日
育苗	4月20日～5月9日	5月2日～5月20日
田植え	5月10日～	5月20日～

※5月10日以降田植えは、エコ・5-5米コシヒカリの要件です。

3. 令和6年用温湯消毒済種子粉の取扱いについて

- (1) 配達時期: 3月10日頃より配達予定(品種により配達時期が異なる場合があります)
- (2) 保管: 稲わらや籾殻の近くやむしろ等の上には置かない(雑菌の付着防止)

4. 浸種

- (1) 浸種場所 … **浸種水槽に直射日光が当たらないよう屋内等で浸種してください。**
- (2) 水量 … 水道水などの清水で、**水量は種子粉容量の2倍程度にします。**
※ 種子粉1kgに対し、水は約3.5ℓになります。 ↓■計算してみましょう。

種子粉	1 kg	4 kg	20 kg	kg
水量	3.5 ℓ	14 ℓ	70 ℓ	ℓ

【休眠情報】

「令和5年産のコシヒカリBL種子の休眠は、深いと推定される」作物研究センターより

- (3) 水温 … **令和6年は種用の種子粉は水温12℃、積算水温120℃を目安として下さい。**
※注意※① 浸種初期の低水温(10℃未満)は、発芽揃いが悪くなります。
② エコ・5-5の場合、他の薬剤消毒済と一緒にはしないでください。
- (4) 水の交換 … 浸種初日から1日おきに交換してください。
※モミガードC等(慣行栽培)の薬剤消毒済種子粉は、消毒効果を高めるため浸種開始から4日間程度は水を入れ替えないでください。
- (5) 水切り … 浸種期間中に、2回以上行なってください。
必ず、別の台(めざら等)に移して水切りしてください。

5. 催芽

- (1) 催芽温度 … 30℃(こまめに水温を確認ましょ)
- (2) タフブロック剤の処理 … 褐条病・ばか苗病等の予防
※注意: 種子粉は温湯消毒済みであっても、褐条病やばか苗病等の発生を防ぐために、必ずタフブロックによる消毒を行ってください。タフブロック処理した種子粉は、消毒効果を維持するため、水に浸けたり、洗ったりしないでください。

【使用方法】

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用方法
タフブロック	200倍	催芽時	24時間種子浸漬

お問い合わせ先	ながおか営農センター ☎0120-915882 ながおか西営農センター ☎0120-915883
---------	---

裏面もご覧ください。

催芽の状態を必ず確認しましょう！

(3) 催芽終了

- ① 催芽日数は1～2日を目安に、籾の発芽状態は鳩胸程度とし、発芽率が80%以上になったら終了し、陰干しします。
- ② コシヒカリ、五百万石等、例年休眠の深い品種は必ず催芽状態を確認してください。
- ③ 「こがねもち」「わたぼうし」「越淡麗」は発芽しやすいので、芽・根が伸び過ぎないように注意しましょう。

鳩胸程度の催芽



※催芽種子の冷水中での浸漬保管は厳禁です。(酸素欠乏で、根の発育が悪くなります！)

6. 育苗ハウスの準備

育苗ハウス周囲に小排水溝を掘って排水を良くし、育苗中のハウス内の滞水を防いでください。(ハウス内の排水が悪いと“ムレ苗”の原因になります。)

7. 消雪後の本田準備(田面水の排水)

根域の環境改善の為、枕地などで滞水している圃場では可能な限り小溝を切って、表面排水に努め、田面の乾燥を早めてください。



【参考】H29 年度宮内地域品質向上プロジェクト「砂利採取後排水不良ほ場の排水対策」
実証圃の本田準備排水状況 (H29 JA 越後ながおか、六日市)

8. エコ・5-5 運動遵守事項

- (1) 『令和6年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」(長岡地区)』を必ず遵守してください。基準を満たせない場合は「エコ・5-5 米」として販売が出来ないため、慣行栽培米としての扱いになりますので注意願います。
- (2) 作付け前(前年収穫後から)の圃場内に、除草剂等農薬は一切使用できません。
- (3) 箱処理剤「ゼロカウント粒剤(わたぼうし以外の品種)」、「Dr.オリゼフェルテラ粒剤(わたぼうし)」は、いずれか1回のみ使用できます。
※JA育苗センターで播種した苗は全て「箱処理剤施用済み」ですので注意して下さい。
- (4) エコ・5-5 コシヒカリは、5月10日以降田植えが要件です。(但し、特認制度あり)
○「田植実施日報告書」により、田植日を報告していただきます。(6月)
- (5) エコ・5-5 コシヒカリは選別網目1.9mmが要件となっています。
- (6) 「エコ・5-5 圃場看板」を、必ず設置してください。
4月5日頃に看板を配布します。4月20日までに設置をお願いします。
- (7) 圃場設置看板の素材変更について
現在、ほ場に設置している看板について、ラミネート加工された看板から耐水紙に印字したものへ変更します。

	ラミネート看板	耐水紙看板
価格	約27円/枚	約25円/枚
環境配慮	プラスチックと燃えるゴミに分別して廃棄	燃えるゴミとして廃棄 ※脱プラスチック

令和6年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬 使用基準」【長岡地区】

農薬は、各剤1つの剤型のみ使用できます。

●=使用可能(重点品目) ○=使用可能 ×=使用不可 ____=新規

		農薬・肥料名	コシヒカリ こしいぶき その他	わたぼうし
育苗箱の消毒		イチバン	○	○
種子消毒(催芽時)		タフブロック	●	●
水田初期病害虫防除		ゼロカウント粒剤	●	×
		Dr.オリゼフェルテラ粒剤 ※1	×	●
水田 除草剤	初期剤	ソルネット 1 キロ粒剤または エリジャン(乳剤・ジャンボ)	○	×
	初中期一発剤	カウシルエナジ-(1 キロ粒剤・ジャンボ・フロアブル)	●	●
	中後期剤	クリンチャー(1 キロ粒剤・EW・ジャンボ)	○	○
		クリンチャーバス ME 液剤	○	○
害虫防除(共同防除)		スタークル(液剤 10・粒剤・豆つぶ)	●	●
いもち病防除		フジワン (粒剤・1 キロ粒剤・パック・乳剤)	○	●
		フジワンモンカット粒剤	●	×
紋枯病防除		モンカット粒剤・フロアブル	○	×
紋枯病防除		バリダシン(液剤 5・粉剤 DL・エア)	○	○
いもち病防除		カスミン液剤	○	○
稲こらじ・墨黒穂病防除		ドイツボルドーA またはZボルドー粉剤 DL	○	○

※1 令和7年度より、Dr.オリゼフェルテラ粒剤(わたぼうし)はGPオリゼリディア箱粒剤に切替となりますので在庫が残らないように使用をお願いいたします。

※ 農薬の使用にあたっては登録内容を遵守してください。

育苗	「稚苗苗代配合」	○	○
	「ホーネンス培土1号」、「ホーネンス培土1号Si」、「くみあい液肥2号」、「べんとう肥」	●	●
土づくり	完熟発酵ケイフン(イセ有機)、牛ふん、豚ふん、みつパワー・ニュー・米スター、ようりんケイカル、マルチサポートFe、農力アップ等	●	●
基肥	「越後の輝き有機50元肥」※ または「フレーバーペースト734」	●	●
	味好2号、フジミペレット731、みらい有機831	○	○
全量基肥肥料	「越後の輝き有機50スーパー元肥」(早生用)、 「越後の輝き有機50スーパー元肥ロング」(コシヒカリ用)	●	●
中間追肥	ウォータ-シリカ、マルチサポートFe、ス-パ-シリカ、塩化加里 けい酸加里プレミア34、ニュー・米スター、ファイト・アップ等	○	○
穂肥	「けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥」	●	●
	味好2号、フジミペレット731、フェザ- MAX、みらい有機831	○	○

※令和6年度は、移行期間として「けい酸入りエコ・5-5 専用元肥」は使用可です。それ以降は「越後の輝き有機50元肥」を主体に使用することとします。